二月例会御案内

公益財団法人 協和協会

（平成三十一年・通算第六九三回）

○御案内

二月二十一日（木）十一時半入館可、正午～午後二時半　衆議院第一議員会館地下一階　第4会議室

講　題　米中対立と東アジア安全保障への影響！

◎**講　師　飯田将史先生（防衛省・防衛研究所・中国担当主任研究官）**

かつて発展途上国であった中国は、その経済発展期とともに、資金を日本やアメリカの先進技術の吸収に投じ、また、政策的に人件費を低く抑え、国内に多くの外国企業・工場を誘致し、さらには、その実力向上とともに、古来から伝統の中華思想に基づいて、近年では、「一帯一路政策と共に、中国主導の「アジアインフラ投資銀行」（ＡＩＩＢ）および「シルクロード基金」を設置して、ヨーロッパ、中東、アフリカ、南アメリカ、そして太平洋諸国、すなわち、世界の三十六カ国に及ぶ七十六港湾を運営するに至っており、それは正に、アメリカと地球の支配を争う形になっているため、アメリカのトランプ大統領もかなりの決意でこれに対処しています。

そうした世界情勢の折から、ここは、防衛研究所・中国担当主任研究官、飯田将史先生より、分析・解説をいただくことにしました。奮っての御参加、お待ち申し上げます。

（清原記）

□　**当日会費（昼食付き）　会員は三千円、非会員五千円。**

公益財団法人 協和協会

二月二十一日（木）の月例会に

出席　　欠席　（いずれかに○印を）

御芳名

貴方様のＦＡＸ

メール

当日連絡先　080-8836-6203　重田

080-9292-2620　高津

（通話のみ）

http://www.kyowakyokai.or.jp

電話　03-3581-1192

FAX　03-3507-8587

▽二月十九日（火）までに出欠の返信賜りたく。

◎**御報告**

新年会は例年「公益財団法人 協和協会」と「時代を刷新する会」とで、共催しております。この両団体は、法人格が異なりますので、一部の役員のみ兼務するが、多くの役員は異なり、また月例講話会も、別々の講師をお招きしております。

しかし、いずれも岸信介元総理によって設立された団体であり、「協和協会」が、政財官学民各界の指導者クラス経験者で構成されているのに対し、「時代を刷新する会」は、学者、教育者、評論家、技術者、芸術家等々、専門家によって構成されている点で異なります。内部にある各種専門部会・委員会は、共同研究している関係で、新春懇親会は例年、共催している次第です。

今年は、一月十七日（木）正午から、千代田区平河町二－四－三、「ホテル・ルポール麹町」「マーブルの間」において、和風会席にて開催されました。正面壇上には、「新春懇親会 安倍政権で内外諸課題解決を！」と墨書した大横幕が掲げられ、向かって左側の生花の上には「公益財団法人 協和協会創立四十五周年」と縦書き墨書し、そして向かって右側の生花の上には「時代を刷新する会 創立三十八周年」と縦書き墨書しました。

正午に開会宣言ののち、まず、本年も、安倍晋三内閣総理大臣より温かい「お祝いのお言葉」を頂戴いたしましたので、清原淳平（公財）協和協会代表兼専務理事が正面壇上に上がり代読。

続いて両団体の代表理事・岸信夫衆議院議員・安全保障委員長が新春所感として、この一年、予定されている行事について詳しく御解説下さり、参加者一同、決意を新たにいたしました。

大野功統元国務大臣の乾杯音頭があり、その後、出席者がそれぞれ年頭所感を述べ、大層、盛り上がった新年会となりました。その模様は近く「写真報告」を御送付いたします。

▽当「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を研究調査し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会のほかに、八つの部会と、五～六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出している。第二代会長は、福田赳夫元総理、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長は塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代は代表理事兼会長代行として、岸信夫衆議院議員・安全保障委員長、元外務副大臣が就任している。

▽事務局電話（03）3581―1192　代表理事兼専務理事・清原淳平、総務重田典子、高津優介、